

1 部の 使命	<p>—「安全で快適なまち」を創造していきます—</p> <p>【使命】 私たち まち整備部は 養父市に暮らし訪れる人々が希む 安心できる環境と住みよいまちづくりのため 全職員の知恵と情熱を結集し 安全で快適なまちを創造していきます</p>
	<p>【評価】 —</p> <p>【原因】 —</p> <p>【方向】 —</p>

2 それ まで の経 営評 価	<p>【評価】 —</p> <p>【原因】 —</p> <p>【対応】 —</p>
--------------------------------	---

3 外部 環境	<p>◎機会</p> <p>【政治】 国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」</p> <p>【経済】 社会資本整備に必要な財政的支援</p> <p>【社会】 交通インフラの整備（自動車専用道路・県道BP）</p> <p>【市民】 身近の生活環境向上への取組</p> <p>【情報】 国・県・業界との技術情報の共有</p> <p>▼脅威</p> <p>【地域】 人口減少・少子高齢化・空家の増加</p> <p>【市民】 要望が多い</p> <p>【社会】 社会資本インフラの老朽化</p> <p>【協働】 建設業者の確保</p> <p>【環境】 自然災害の激甚化・頻発化</p>
---------------	--

4 内部 環境	<p>○強み</p> <p>【使命】部の使命が明確になった</p> <p>【政策】国・県との事業推進への連携</p> <p>【協働】地域自治組織の存在</p> <p>【人材】危機管理能力の高い職員</p> <p>▽弱み</p> <p>【市民】市民ニーズの分析力・対応力</p> <p>【計画】インフラ長寿命化計画の進捗の遅れ</p> <p>【人材】技術専門職員の確保</p> <p>【情報】部の業務情報の発信力の不足</p>
---------------	--

5 重要 経営 課題	<p>【住む】若者向け住環境の整備や空家の利活用による定住の促進 公共インフラの老朽化対策及び維持管理対策の推進</p> <p>【市民】多様な市民ニーズへの迅速、かつ、きめ細かな対応</p> <p>【人材】専門性の高い職員を育てる機会の確保</p> <p>【協働】用地境界の明確化（地籍調査の推進）</p> <p>【生活】快適な住環境の維持（上下水道・市営住宅・公共交通）</p>
---------------------	--

6 部の 経営 体制	<p>・所管課：土地利用未来課、上下水道課、地籍調査課、建設課</p> <p>・人員：部長職2人、管理職4人、技術職6人、専門職12人、一般職14人、会計職6人</p> <p>・予算：一般1,660,000千円 一般会計総予算の8.4%</p> <p>水道1,680,000千円 下水2,580,000千円 計4,270,000千円</p> <p>特別会計総予算の35.7%</p> <p>部全体予算5,930,000千円 総予算の18.7%</p>
---------------------	---

7 部の 経営 目標	<p>・公共インフラ利用者の苦情件数：0件</p> <p>・管理瑕疵による事故件数：0件</p> <p>・地籍調査の進捗：3%/年</p> <p>・公共交通の利用者数：対前年度以上</p> <p>・安全安心な水道水の供給：水質事故0件</p> <p>・職員の能力向上のため研修会等への積極的な参加：職員各1回以上</p> <p>・窓口のワンストップを目指す対応強化：窓口満足度100%</p>
---------------------	--

8 部の 経営 方針	<p>【市民】市民ニーズに対する市民目線の経営</p> <p>【政策】独自の・共創的な計画策定</p> <p>【協働】市民協働による生活環境の整備</p> <p>【人材】職員の能力を向上させる学習重視の経営</p> <p>【改善】スクラップ&ビルドによる選択と集中の経営</p> <p>【財政】公共料金を値上げしない効率的な企業経営</p>
---------------------	--

<p>9 部の 重要 政策 の取 組内 容</p>	<p>【新規】 国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の活用 → 事前防災対策を加速化させる国県の取組を積極的に支援推進する。 リモートセンシング技術を活用した地籍調査の推進 → 広域的な土地境界の基礎情報を整備する。 旧グンゼ八鹿工場事務所棟・宿泊棟の利用促進 → 「やぶ市民交流広場」との一体的な活用を図る。</p> <p>【拡大】 宅地開発支援事業の利用拡大 → 宅地開発を推進し、定住化の促進や人口流出の抑制を図る。 朝倉周辺の土地利用計画の策定 → 朝倉～八鹿中心地の道路整備計画を軸とした土地利用計画の検討 空間IT基盤情報システムの活用推進 → 市が保有する空間情報の高度な運用・活用を実現する。</p> <p>【改良】 橋梁長寿命化事業における対策方法の見直し → 修繕対策の目標数を達成するために局所的な対応を推進する (目標/修繕工事の着手数 50本)</p> <p>【廃止】</p>
---	---

<p>10 経営 の仕 組み に関 する 取組 内容</p>	<p>【市民】 市民ニーズに対する市民目線の経営/ 数多く寄せられる様々要望に対して現地の確認や要望者の生の声を聞き、 市民目線に立った「きめ細か」な対応をする。</p> <p>【政策】 独自の・共創的な計画策定/ 他の競争相手とは違う養父市独自の取組を推進し、競争に勝つ。</p> <p>【協働】 市民協働による生活環境の整備/ 行政での対応が困難な業務であっても市民との協働で問題解決に取り組む。</p> <p>【人材】 職員の能力を向上させる学習重視の経営/ 日々進化する技術や社会状況に対応できる職員を育成するための学習 機会の確保</p> <p>【改善】 スクラップ&ビルドによる選択と集中の経営/ 漫然と日々の業務をこなすのではなく、選択と集中で限られた労働時間を 有効に使う。</p> <p>【財政】 公共料金を値上げしない効率的な企業経営/ 独立採算の考えを重視し、施設整備などの会計を圧迫するような大規模 事業の実施には慎重に取り組む。</p>
--	---